

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	世界の教育事情				
担当者氏名	鈴木 伸尚				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

世界の教育事情を見聞きすることは、日本の教育や学校に対する見方や考え方を広げることにつながる。本講義では、20世紀のはじめにフランスで始まり世界各地に広まった「フレネ教育」をひとつの題材として、ヨーロッパ、中南米、アフリカの教育現場を見ていく。

《テキスト》

教科書は指定しない。

《参考図書》

適宜、参考資料を配布する。

《授業の到達目標》

①自身が経験している教育や学校を相対化する視点を学ぶ。②グローバルな現象の広がりを見すえながら、共通する問題を論理的に説明できる力を身につける。

《授業時間外学習》

レポート作成のための文献や資料を調べること。

《成績評価の方法》

平常点(毎回のふりかえり用紙)40%、提出物(レポート)60%で総合的に評価する

《備考》

講義中に課す提出物は、提出期限を厳守すること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	イントロダクション	授業の概要・進め方・評価について
2	日本の教育事情	生活に学ぶ—生活綴方から生活教育まで
3	フランスの教育事情①	戦前のフランス公教育—フレネ教育の誕生
4	フランスの教育事情②	戦後のフランス公教育—制度のベタゴジーはなぜ生まれたのか
5	フランスの教育事情③	現代のフランス公教育—都市と移民
6	イタリアの教育事情①	イタリアのフレネ教育—マリオ・ローティの仕事に学ぶ
7	イタリアの教育事情②	幼児教育を考える—レッジョ・エミリアのアプローチに学ぶ
8	イタリアの教育事情③	障がいのある子どもと教育
9	オランダの教育事情	多様な学びを支える—イエナプラン教育との交点
10	スペインの教育事情	学びとは何か①—社会的な自立と教育
11	南米(ブラジル)の教育事情	学びとは何か②—識字教育から考える
12	メキシコの教育事情	学びとは何か③—社会格差から考える
13	アフリカの教育事情	学校に通うこと①—就学・通学について考える
14	北欧(スウェーデン)の教育事情	学校に通うこと②—オルタナティブスクールについて考える
15	まとめ	講義全体の振り返り